

指定校番号	31014	学級活動	○	児童会活動	学校行事	別紙様式2
-------	-------	------	---	-------	------	-------

令和元年度生徒指導集中対策及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	尾道市立高須小学校	校長	梶原 弘志	生徒指導主事	高橋 直輝
-----	-----------	----	-------	--------	-------

取組事例名 『ハートフルウィーク』

取組における育てたい資質・能力

人間関係形成		社会参画		自己実現	
集団向上力	1	社会貢献力	3	自己指導力	2

取組のねらい

○児童会役員が中心となり、「ハートフルウィーク」を設定し、「いじめゼロ」の学校づくりに取り組むことを通して、全校でいじめを許さない意識を高める。また、「ハートフルウィーク」での取組を通して、自己指導力、集団向上力を高める。

取組の具体的内容	取組の創意工夫 『児童主体』
----------	-------------------

<p>○児童会役員が「ハートフルウィーク」の取組内容を話し合い、「笑顔の虹」を設定する。</p> <p>○代表委員会で取組方法を周知し、各学級で取組目標を設定する。</p> <p>○全校朝会で、児童会役員が「ハートフルウィーク」での取組やねらい、「いじめゼロ」の学校づくりを目指すことを説明する。</p>	<p>○「笑顔の虹」…ハート型の用紙を用意し、うれしかったことや心があたたかくなったことを記入する。記入したものを虹の絵が書いてある台紙に貼っていく。</p> <p>○各クラスで設定した取組目標は、全児童が見えるところに掲示する。</p>
--	---

○昼の放送時間に毎日、児童会役員が「○年○組のハートに○○と書いてあるのを見ました。それを見て私もうれしい気持ちになりました。」等、各クラスのハートに書いてあることを発表する。

○「ハートフルウィーク」設定1週間後の全校朝会で、2クラスの「笑顔の虹」を紹介する。



取組の成果と課題

○児童が大変意欲的に取り組み、当初1週間で行う予定だったが、2週間となった。

○児童会役員が主体となって取組を進めたことで、全児童の「いじめゼロ」に対する意識が高まった。

○肯定的なことを多く集め、児童会役員が全校児童に発表することで、学校・学級があたたかい雰囲気になり、笑顔が増えた。

○昨年10件だったいじめ事案が7件に、4件だった暴力行為事案が2件に減少している。(1月末時点)

●学級間で取組に温度差があった。この反省を活かし、次回は全校児童の取組にしたい。

●事後の取組に課題がある。振り返りを充実し、「ハートフルウィーク」後の生活にも活かしていきたい。